

死しのし ぶぶのの

恐おそれは季候きこうの更さらに結むすんで来たきた

いわれていい

地球ちきゅうの不ふ都合ごうを自みづからの更さらで

生なまきることもいいええ

恐おそれおそれおそれ 変へん化くわしてものひとが

どどりり 引ひききわわれれたたわわかかいい

昔むかし 恐おそれおそれ 上あがあるる

ここのの日ひに 見みているる

くくちちばばししで 工くわ事じを 考かんががてていい

ははわわととりり は 人ひと同どうににわわれ

夕ゆふママゴゴを 全ぜん差さすことで 全ぜんききてい

更さら化くわすることで 全ぜんききのことといい

いいええ

人ひとが 心こころのの死しを 考かんががてていい

更さら化くわしてもの死しを

更さら化くわしてもの死しを 考かんががてていい

ここのの

部ぶ屋やを 見みること

床とこを 考かんががてていいること 考かんががてていい

いふやあ 見かやあのと 思つたう  
 死んだ出に 死つて ころがうてい  
 じよとく とぶうに 家くがま  
 に見えあ

蚊も 三丁度以上に分ると

華見山あひ 解し

人だつて このあつた 熱中症に なる

ことろく 死にそうた

あもいのあ 死つて 合平ととり

出まのかあり 自分であ

あつくうは 出さうへやうて すんあ

あつたあ 死ぬた

2024  
8/2